

令和8年5月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,678億円（対前年同月比5.9%の増加、比率ベース：8カ月連続の増加）、輸入総額は1,185億円（同2.1%の減少、2カ月ぶりの減少）であった。差引額は492億円（同31.9%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「科学光学機器」、「加熱用・冷却用機器」などは減少したものの、「建設用・鉱山用機械」、「写真用・映画用材料」、「半導体等電子部品」などが増加した。

輸入は「魚介類及び同調製品」、「重電機器」などは増加したものの、「液化天然ガス」、「無機化合物」、「金属鉱及びくず」などが減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「アジア」が増加、「EU」は減少した。輸入は「EU」、「アメリカ」が減少、「アジア」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,678億円	+5.9%	1,185億円	▲2.1%	492億円	+31.9%
	8カ月連続の増加		2カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 建設用・鉱山用機械	55億円	+60.2%	輸入	増加品目	(1) 魚介類及び同調製品	203億円	+13.4%
		(2) 写真用・映画用材料	57億円	+52.6%			(2) 重電機器	40億円	+61.6%
		(3) 半導体等電子部品	44億円	+56.2%			(3) プラスチック	46億円	+35.9%
	減少品目	(1) 科学光学機器	59億円	▲28.7%		減少品目	(1) 液化天然ガス	65億円	▲38.9%
		(2) 加熱用・冷却用機器	36億円	▲34.4%			(2) 無機化合物	3億円	▲87.7%
		(3) 二輪自動車類	147億円	▲7.8%			(3) 金属鉱及びくず	7億円	▲73.9%
主要地域増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少				主要地域増減	EU、アメリカが減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、158.29円（前年同月比10.0%、14.32円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	+18.6%	23億円	▲56.2%	▲15億円	▲67.7%
	2ヵ月ぶりの増加		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	1億円	5.2倍	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	14億円	+14.8%
		(2) 糖類及び同調製品・はちみつ	44百万円	3.9倍			(2) 有機化合物	6億円	+3.7%
		(3) 織物用糸及び繊維製品	29百万円	4.1倍			(3) バッグ類	4百万円	全増
	減少品目	(1) 写真用・映画用材料	4億円	▲11.4%		減少品目	(1) 石炭	—	全減
		(2) 自動車の部分品	6百万円	▲61.0%			(2) パルプ	2億円	▲34.5%
		(3) 無機化合物	54百万円	▲1.2%			(3) 魚介類及び同調製品	42百万円	▲65.9%
主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少			主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	331億円	+36.5%	44億円	▲40.6%	287億円	+70.1%
	9ヵ月連続の増加		18ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	119億円	+70.6%	輸入	増加品目	(1) 木材及びコルク	8億円	+17.2%
		(2) 無機化合物	22億円	2.1倍			(2) 有機化合物	2億円	+22.9%
		(3) 自動車の部分品	72億円	+15.4%			(3) プラスチック	40百万円	+21.7%
	減少品目	(1) 楽器	24億円	▲13.3%		減少品目	(1) 自動車	17億円	▲62.3%
		(2) 電気計測機器	6億円	▲30.4%			(2) 調製石油添加剤	4億円	▲41.3%
		(3) 電池	1億円	▲33.4%			(3) 鉄鋼	3億円	▲46.5%
主要地域増減	EU、アジア、アメリカが増加			主要地域増減	アジアが減少、EU、アメリカは増加				

4. 静岡空港

輸出入実績なし